名所巡り委員会

# 「秋のバスツアー」　レポート

## ２０１９年１１月６日開催

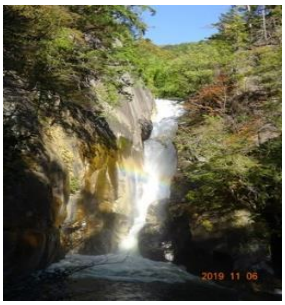
### *紅葉の昇仙峡と影絵の森美術館見学にモンデ酒造のワイン*

１１月に入り１０月とはうってかわり好天気に恵まれ、この日も絶好調の秋晴れとなり参加者の皆さんの笑顔が爽やかでホットな門出となりました。
今回の参加者は４６名（女性 35 名　男性 11 名）、紅葉の昇仙峡を目指して新宿を出発！

首都高で多少の渋滞がありましたが首都高を抜けると、冠雪した富士山が現れ東京競馬場の辺りでは見事な富士山の山容を拝むことができ、この旅の前途がおおいに歓迎されていると思えました。中央高速道路は順調で９時過ぎには最初の休憩場所の談合坂 SA に、その後もほぼ予定通りで１１時前には昇仙峡に到着。

まずは最初の見学地である影絵の森美術館で全員下車し、記念写真を撮りました。ここは世界的影絵の巨匠である藤城清治氏が自ら監修設計した美術館。影絵は木枠にトレーシングペーパーを貼ったものをベースにして、その裏表に様々な紙やフィルターを数枚から数十枚切り抜いて貼り重ねたものです。この紙の重ね具合と光の透過度合によって微妙な色調の美しさが現出されます。

真っ暗闇の中に動物やこびとなどが歌ったり踊ったり、赤、桃色、黄色、青、緑に紫‥‥、楽しそうに浮かび上がる色の数々。影絵のもつ光と影のコントラストによる幻想的な色彩の美しさに驚かされます。
他に竹久夢二画伯や山下清画伯、漫才の内海桂子師匠の絵も展示されていた。また、猫好きの方にはたまらない歌川広重・歌川國芳・熊谷守一・藤田嗣治・川鍋暁斎などの猫の絵が展示されていました。中には俳優の米倉斉加年さんや竹久夢二の見事な美女が抱く猫の絵には、思わず感動を覚えました。

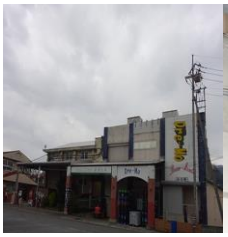


その後、色づき始めた紅葉と昇仙峡の絶景を楽しみながら遊歩道を歩きました。この仙娥滝は、富士川水系の荒川上流にある、昇仙峡の最奥部にあります。地殻変動による断層によって生まれた滝で、花崗岩の岩肌を削りながら 30m 落下する滝の景観を楽しみ、巨大な花崗岩で囲まれた石門のアーチをくぐり集合場所へ。

１２時半に昇仙峡を出て、３０分ほどで石和温泉の昼食場所である「糸柳」に着く。全員で記念写真を撮影後、テーブルに着席。
笹野社友会分会会長のご挨拶と乾杯の発声でスタートしました。

糸柳は石和名湯館で有名な食事処だけあり、刺身も鮪だけでなく甲州名物の馬刺しやほうとう、甲州牛のシチュー鍋、天ぷらなどが満載で、お酒はビールだけでなく日本酒や焼酎も提供され、皆さん料理に舌鼓を打ちながら和気あいあいと楽しい 80 分程をあっという間に過ごしました。

１４時半糸柳を出発し、５分ほどですぐ近くにある次の訪問先のモンデ酒造に到着。ワイン工場を見学した後、名物の甲州ワインを試飲しました。今年採れたぶどうで作られたワインの出荷が始まったとかで試飲したどのワインもフルーティーで味わい深く、皆さんそれぞれがお気に入りのワインを購入されていました。



１５時過ぎ 最後の訪問先である山梨の名物お菓子、桔梗信玄餅アウトレットに向かい１５時半 に着きました。ここは参加者の皆さんが良く訪れている場所でもあり、皆さん何を買うか予め決めているかのように、思い思いの品を籠に入れていました。中にはかなり大きな袋に一杯抱えながらバスに乗り込む方もいらっしゃいました。
１６時頃 一の宮御坂ＩＣから中央高速道路に入り、途中、石川Ｐで休憩。その後は若干の渋滞があったものの、ほぼ予定通り 18 時 には新宿に着きました。

天気は快晴で比較的温かい一日でした。予定通りに見学や買い物を楽しむことができました。土産物を抱えながら皆さまが満足な表情で全員無事に帰着出来たこと、これもひとえに皆さまのご協力の賜物と感謝します。
来春は、４月～５月に何処か何かの花を…と思いますが、２月頃にはバスツアーを企画しご案内をします。
今回来られた方々、今回来られなかった方々、今まで参加されていない新規の方々等々の多くの参加を期待して・　・　・　・　・　・春にお会いしましょう！

影絵の巨匠
Seiji Fujishiro
藤城 清治
影絵の森美術館
裸の大将
Kiyoshi Yamashita
山下 清
森の
2019 11 06

山梨石和温泉郷
石和名湯館
2019 11 06